



大野

大野小学校 学校だより
第3号

令和5年 6月 5日 (月)

校長 織田島 賢嗣

【教育目標】 ・かしこく ・やさしく ・たくましく

◇ 今年度の重点目標 「よく聞き よく考え 進んで行動しよう」

運動会から 相新体育大会へ

女子80mH走 1位 佐藤 希
男子走り高跳び 4位 渡邊 快斗
女子リレーB 優勝
菊地 凜 渡邊 莉那 新開心優希 佐藤 希
男子リレーB 優勝
酒井大和 渡邊快斗 桃澤篤叶 八巻諒成



5月13日(土)は、天候にも恵まれ、「150周年！元気爆発！！協力して名を刻め！！」のスローガンのもと、運動会を盛大に開催することができました。勝敗の結果はわずかな差でしたが、紅白ともに6年生が引っ張って、力を十分に出し切った爽やかな対決でした。保護者の皆様には朝早くからご協力をいただき、誠にありがとうございました。

また、5月31日には、相新体育大会が開催されました。大会に出場した6年生は、しっかりと練習に励み、持てる力を十分に発揮しました。本大会でも、保護者の皆様に準備や応援等で大変お世話になり、誠にありがとうございました。入賞者の成績は以下の通りです。おめでとうございます。

女子100m走 1位 渡邊 莉那
" 5位 菊地 凜

6月



- 6日(火) 全校集会
- 7日(水) 歯と口の健康指導
- 13日(火) 心電図検査(1, 4年)
児童会総会
- 14日(水) 眼科検診(全学年)
校外学習4年(下水処理場)
- 16日(金) 職員会議
- 20日(火) プール開き
- 22日(木) 花の苗植え
- 28日(水) リディングスキルテスト(5, 6年)
校外学習4年(クリーンセンター)
- 29日(木) 福島民報出前講座(4年)



※裏面の「ネットやゲームとの付き合い方」を考えましようもお読みください。

「ネットやゲームとの付き合い方」 を考えましょう ②

相馬市立大野小学校長 織田島 賢嗣



私がまだ教諭だった頃、「学級活動」の授業でこの問題を取り上げたのは、20年以上前になります。この頃から、すでに「ノーメディアデー」などの対策が取り組まれていました。しかし、この問題は未だ鎮まる気配がありません。鎮まるどころか、子どもたちがスマホやタブレットを持つようになり、問題はさらに深刻化・複雑化しています。「テレビばかり見てんじゃないよ！」と叱られていた私たちの時代より、その闇はずっと深いように思えます。

メディアの使用時間は、長くなるほど健康に悪影響を与えることは間違いありません。子どもたちの生活の傾向として、家庭学習の時間は減り、本も読まなくなりました。五感を使う実体験が減り、友達との直接的なコミュニケーションも、運動も外遊びも減っています。液晶画面に食い入り、バーチャルな世界に埋もれ、不確かな情報に踊らされながら膨大な時間を費やしています。メディアに夢中なのは、子どもだけではなく。子どもがこの世界に埋もれていくのは、「大人の後ろ姿」も影響しているのではないのでしょうか。

今一番心配なのは、スマホやゲーム機での遊びや動画視聴、SNSなどに1日3～4時間（休日はその倍）も費やしていることです。小学生が授業中、平気で居眠りをします。体の不調で保健室で休む児童やSNSのトラブルから友人関係に悩む児童も増えています。メディアに支配されるおびたしい時間によって、子どもの心と体の健やかな成長と本当に必要な「学び」を犠牲にしているのではないのでしょうか。

「そう言われても、なかなかやめられないものなんです。」という声が聞こえてきそうです。大切なのは、「なぜ、子どもたちの健やかな成長を阻害するのか？」という理由をしつかりと知ることです。それを出発点として、今の生活を立て直す意識を持つ（メディアの使用時間を1時間でも減らす）ということです。

メディア漬けから抜け出さなくてはならない理由の一つは、ゲームに依存している人の脳は、「前頭前野の機能が低下する」と考えられているからです。次回はこの「前頭前野」について、詳しくお話します。

